

# 沖縄県における MICE誘致・開催の取組み



第19回 国際会議等各種会議の  
沖縄開催の推進に係る各省庁連絡会議

# 1. 沖縄県におけるMICE振興施策の位置づけ

## ■ 沖縄21世紀ビジョン基本計画（平成24年5月15日） ※沖縄振興特別措置法第5条

### ● 21世紀「万国津梁」実現の基盤づくり

アジアをはじめ世界との新たな連携・強力関係を構築するため、文化、教育、経済、科学技術、環境、医療、平和などの分野で多角的交流を推進することにより、我が国及びアジア・太平洋地域の平和と持続的発展に貢献する交流ネットワークを構築します。

### ● リーディング産業と地場産業が好循環構造をもつ経済の構築

リーディング産業である観光リゾート産業については、世界水準の観光リゾート地として、(中略)国内外に評価されるよう、産業の量的拡大と高付加価値化に戦略的に取り組みます。

## ■ 沖縄県アジア経済戦略構想(平成27年9月17日)

【重点戦略】 観光リゾート、国際物流、情報通信関連、航空機産業クラスター、ものづくり

【産業成長戦略】 農林水畜産業、先端医療・健康・バイオ、環境・エネルギー、地場産業・地域基盤産業

## 2. 政府における沖縄MICE振興の位置づけ

### 「国際会議等各種会議の 沖縄開催の推進について」 (平成12年6月20日 閣議了解)

- 「国際会議等各種会議の沖縄開催の推進に係る各省庁連絡会議」の設置
- 向こう5年間の計画策定等
- 誘致活動の強化
- 国際会議等の受け入れの円滑化

### 沖縄県を国家戦略特別区域 「国際観光拠点」に位置づけ

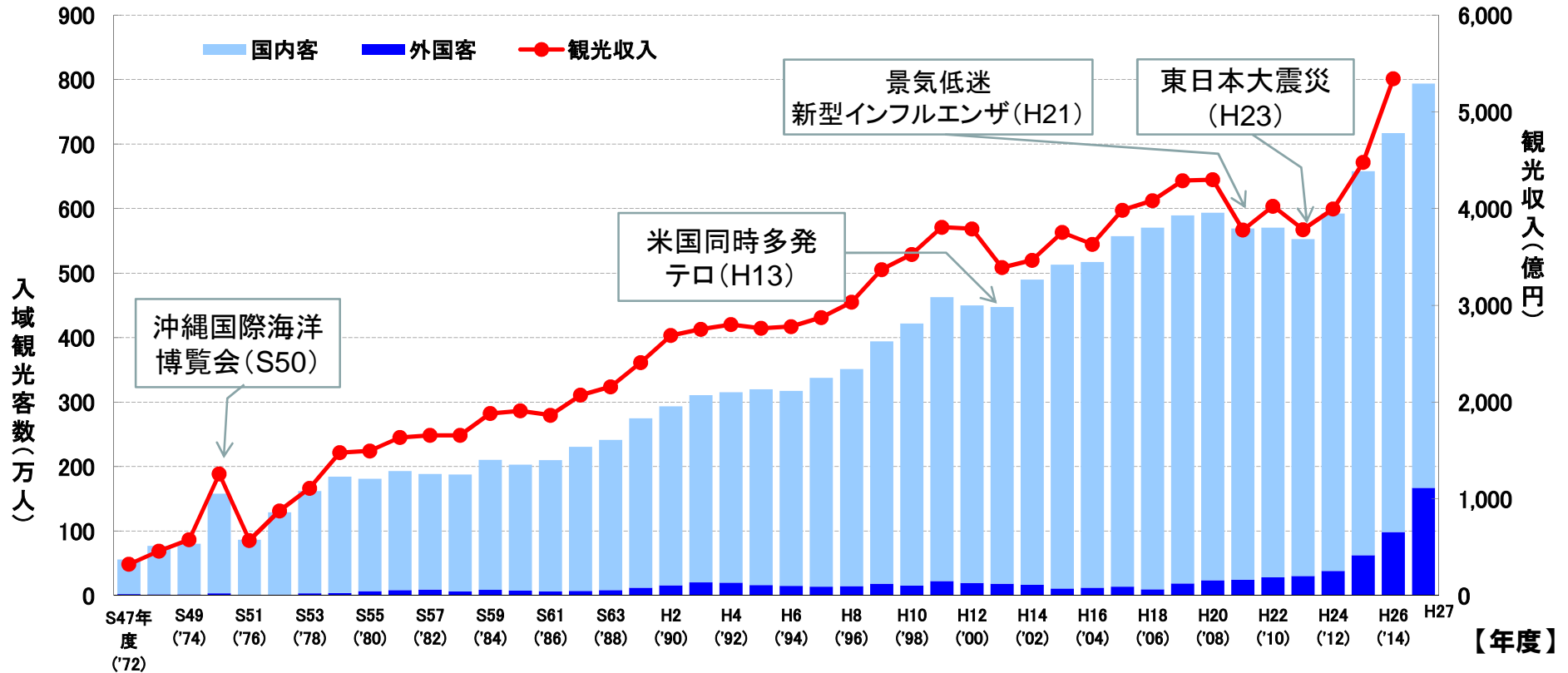
(国家戦略特別区域を定める政令(平成26年5月1日政令第178号))

「世界水準の観光リゾート地を整備し、ダイビング、空手等の地域の強みを活かした観光ビジネスを振興するとともに、沖縄科学技術大学院大学を中心とした国際的なイノベーション拠点の形成を図ることにより、新たなビジネスモデルを創出し、外国人観光客等の飛躍的な増大を図る。」

### 「明日の日本を支える観光ビジョン」(平成28年3月30日)

- 訪日外国人旅行者数 <目標値> 2020年:4,000万人、2030年:6,000万
- 世界水準のDMOの形成・育成 2020年までに全国で100組織を形成
- MICEの誘致促進に向け、政府レベルで支援する体制を構築
  - ・レセプションでの国立施設の使用許可
  - ・ポスト・コンベンション/展示会向け施設の拡充
  - ・グローバル企業のビジネス活動を支える会議施設等の整備への支援 等
- 将来的に、官民連携の横断組織を構築し、オールジャパンで体制での支援を実施

# 3. 沖縄県の入域観光客数と観光収入の推移



1972年度(昭和47年度) 入域観光客数 56万人 観光収入 324億円		<b>【H26年度】</b> 入域観光客数(全体) 717万人 → 794万人(77万人増) うち海外入客 99万人 → 167万人(68万人増) 観光収入 5,342億円 → 約6,000億円
		<b>【H27年度】</b>

# 4. 交通アクセスの強化(空路)

## ●主要国内航空路線数

出発地	空港	発着便数/日
東京(羽田)	HND	31
福岡	FUK	18
東京(成田)	NRT	12
大阪	KIX	23
名古屋	NGO	11
合計		95

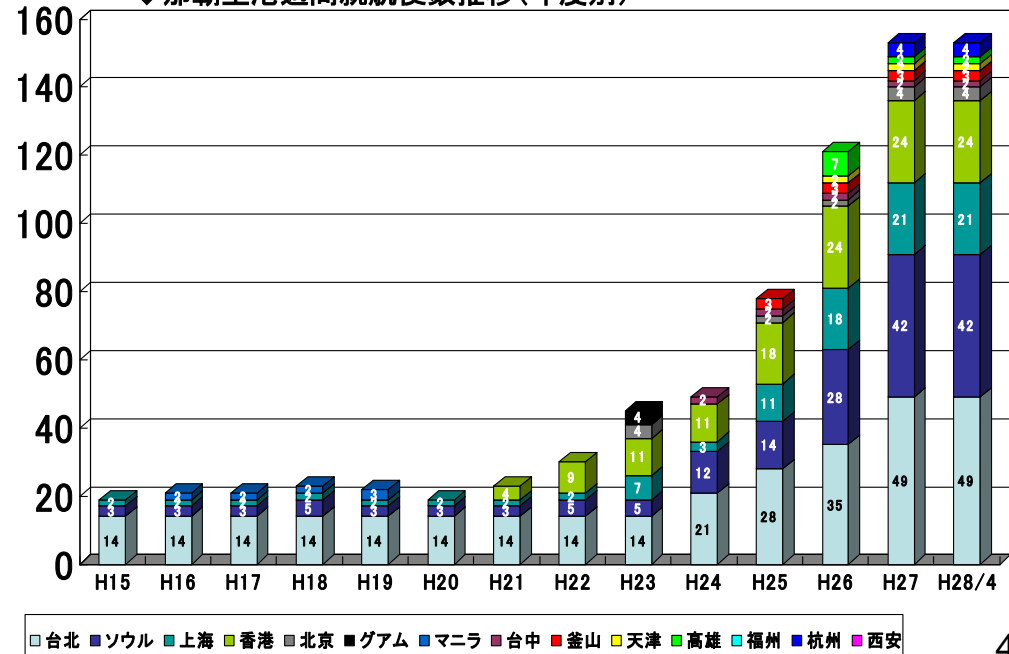
## ●国際航空路線数

2016.3月現在

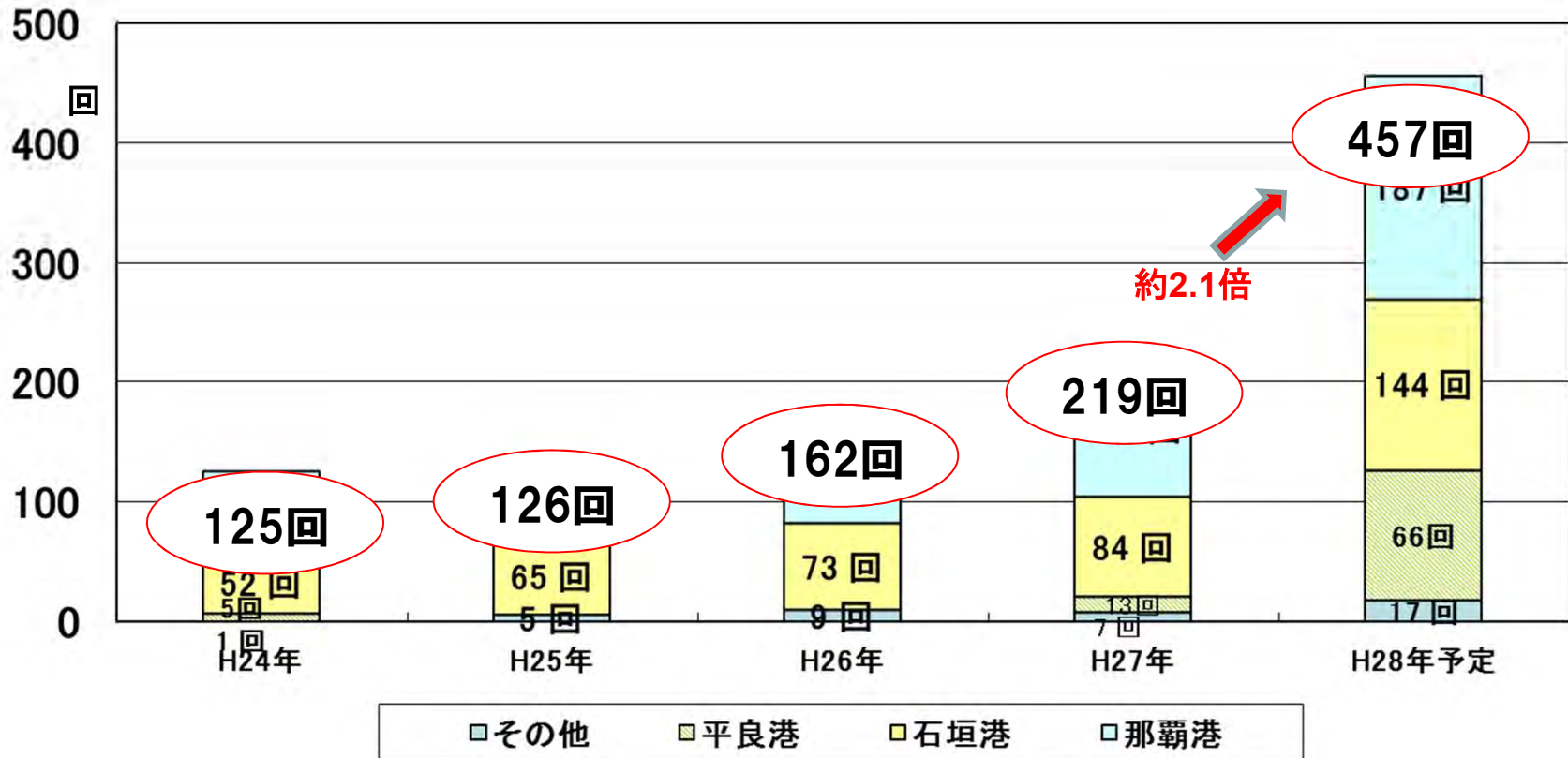
出発地	空港	発着便数/週	出発地	空港	発着便数/週
台北=那覇	TPE	38	杭州	HGH	4
台中	RMQ	2	高雄	KHH	2
ソウル	ICN	40	釜山	PUS	17
上海	PVG	21	北京	PEK	2
天津	TSN	4	香港	HKG	22
合計					152



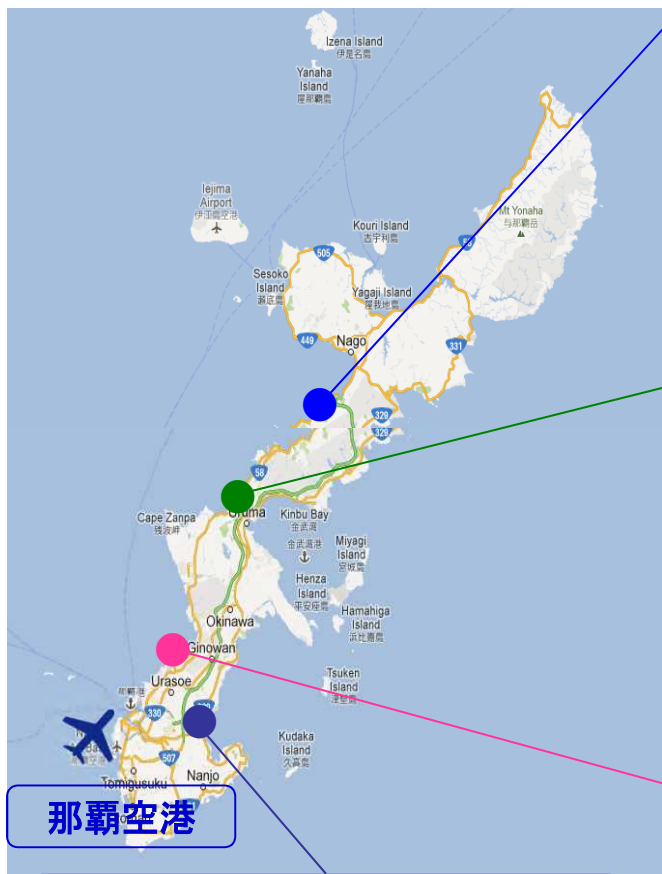
◆那覇空港週間就航便数推移(年度別)



## 5. 交通アクセスの強化(海路)



# 6. 沖縄県内のMICE施設



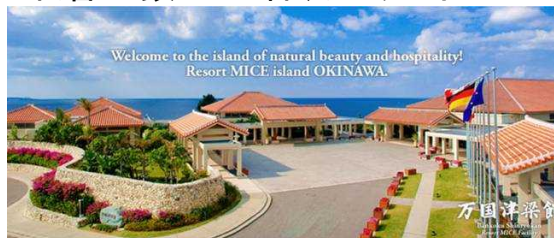
那覇空港

大型MICE施設建設地  
(中城湾港マリンタウン地区)

- 2020年度供用開始予定
- 空港から約22分(道路整備後)
- 収容人数:最大30,000人規模(展示場)

## ● 万国津梁館(名護市)

「九州・沖縄サミット」会場となったラグジュアリーリゾート型MICE施設。  
最大収容人数:500名(サミットホール・シアター形式)空港から約75分。



## ● 沖縄科学技術大学院大学(OIST)(恩納村)

各国から研究者が集う世界に開かれた研究教育機関。  
最大収容人数:496名(講堂)空港から約60分。



## ● 沖縄コンベンションセンター(宜野湾市)

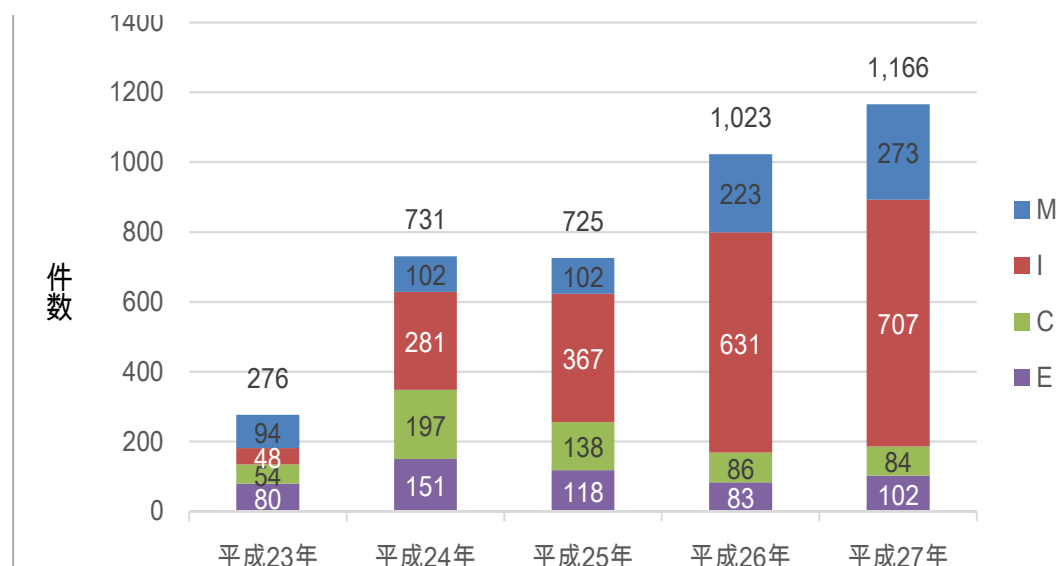
展示場、劇場、会議場、分科会場等の機能を有した県内最大規模のMICE施設。最大収容人数:4,000名(展示場・シアター形式)空港から約40分。



# 7. MICE開催件数の推移

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
	件数	件数	件数	件数	件数
Meeting	94 (34%)	102 (14%)	102 (14%)	223 (22%)	273 (23%)
Incentive	48 (17%)	281 (38%)	367 (51%)	631 (62%)	707 (61%)
Convention	54 (20%)	197 (27%)	138 (19%)	86 (8%)	84 (7%)
Exhibition, Event	80 (29%)	151 (21%)	118 (16%)	83 (8%)	102 (9%)
合計	276	731	725	1,023	1,166

※( )内は各年の総件数に対するMICEタイプ別の比率





# 8. 国際会議の開催実績

## 開催実績 ※海外参加者が10名以上の会議

### ●沖縄で開催された国際会議

(件)

年 開催区分	H23年 (2011年)	H24年 (2012年)	H25年 (2013年)	H26年 (2014年)	H27年 (2015年)
<b>Meeting</b> (企業・団体等が主催する 会議、セミナー等)	11	12	19	43	42
<b>Convention</b> (学会、国際機関等が主催 する国際会議等)	11	47	33	25	23
合 計	22	59	52	68	65

### ●沖縄で開催された政府又は国際団体主催の国際会議 ※内閣府調べ

(件)

年度	H23年度 (2011年度)	H24年度 (2012年度)	H25年度 (2013年度)	H26年度 (2014年度)	H27年度 (2015年度)
計	15	24	28	40	36

# 9.過去の開催事例

## 1. Cyber<sup>3</sup> Conference Okinawa 2015 2015年11月7日～8日

- 主催 内閣府（協力：世界経済フォーラム） **【名護市 万国津梁館】**
- 内容 サイバーコネクション、サイバーセキュリティ、サイバークライムをテーマに議論  
レセプション開催（クールジャパンディナー ～Amazing Okinawa～ 共催：内閣府・沖縄県）
- 参加国・地域 35の国と地域から、政府や企業などの経営者が参加（約350名）



## 2. 第6回太平洋・島サミット 2012年5月25日～26日【名護市・万国津梁館】

- 主催 外務省(首脳会議)、沖縄県(レセプション、昼食会、エクスカーション等関連行事)
- 参加国・地域 日本、太平洋島嶼国13カ国1地域(※)、オーストラリア連邦、ニュージーランド、米国(計17ヶの国・地域)  
(※)13カ国:クック諸島、フィジー共和国、キリバス共和国、マーシャル諸島共和国、ミクロネシア連邦、ナウル共和国、パラオ共和国、パプアニューギニア独立国、サモア独立国、ソロモン諸島、トンガ王国、ツバル、バヌアツ共和国 1地域:ニウエ



### ●沖縄主催プログラム

1. 歓迎セレモニー(於宮古島市)
2. 沖縄県知事主催昼食会(於宮古島市)
3. 第6回太平洋・島サミット交流会・高校生サミット提言式(於宮古島市)
4. 総理主催晩餐会における沖縄のうた紹介(於名護市)
5. 夫人プログラム(於恩納村)
6. お見送り(於那覇市)
7. 高校生太平洋・島サミット(於宮古島市)

## 10. ユニークベニュー

### ● 美ら海水族館(本部町)

名スポット「黒潮の海」水槽前では、海の中にいるかのような幻想的な雰囲気でのレセプションが可能。



### ● 鍾乳洞パーティー(南城市 ガンガラーの谷)

数十万年前の鍾乳洞で貸切パーティーやライブが可能。著名アーティストのライブ実績がある。



### ● 東南植物楽園(沖縄市)

南国・沖縄ならではの植物に囲まれ、最大1,500名規模のパーティーが可能。



### ● 古民家パーティー

古き良き沖縄の雰囲気を感じながら、ゆったりとお食事をお楽しみいただけます。

